

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事例概要について】

• • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • •

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリ
2. 体験した事例の名称	救急要請をした家族が救急車に乗り込む時に、歩道を走行中の自転車と衝突しそうになった
3. 体験した事例の中心的要素	一般住宅に出動した救急現場で、傷病者（夫）を車内に収容後、当初は「自家用車で病院に向かうので、救急車には同乗しません。」と言っていた家族（妻）が、「やはり救急車に同乗したい。」と急に救急車に乗り込もうと、自宅玄関から歩道に飛び出した。それと同時に救急車の陰から走行してきた自転車に隊員が気づき、家族（妻）に注意喚起、行動を制止し、家族（妻）と自転車の衝突をギリギリ免れた。
4. 体験した事例の原因・理由	救急要請をした家族は、往々に動搖が見られるため、周りが見えなくなっている事がある。 救急現場では患者が最優先ではあるが、平静さを失っている家族の行動も把握し、事前に注意喚起すべきであった。

【体験した事例の直接的原因について】

• • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • •

1. 体験した事例の直接的な原因	情報入力に問題があった。
------------------	--------------

【体験した事例について】

• • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • •

1. 発生日時	平成 21 年 4 月 12 日 午後 1 時頃
2. 発生した当時の天候	曇
3. 発生した活動現場	屋外：救急現場（一般住宅）前の歩道上
4. 体験した事例の種類	
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	軽傷の怪我をしていた（させていた）だろう。
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	
7. 事例体験時の活動	救急現場活動中期、 []
8. （7の活動中）どのような作業中に発生したか	その他：車両へ収容後
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した。

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[27]歳、 勤続年数[8]年、 現場経験年数[4] 年、 階級[消防士長]、 同様の活動 [初めて]、 任務 [隊員]
○当事者B	年齢[]歳、 勤続年数[]年、 現場経験年数[]年、 階級[]、 同様の活動 []、 任務 []
○当事者C	年齢[]歳、 勤続年数[]年、 現場経験年数[]年、 階級[]、 同様の活動 []、 任務 []
その他 (当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過 1	当事者A	家族（妻）が慌てて飛び出してくるかもしれないと、想定していなかった	
経過 2			
経過 3			
経過 4			
経過 5			
経過 6			
経過 7			
経過 8			
経過 9			
経過 10			

【その事例発生時の状況について】

A horizontal line consisting of 20 solid black circular dots, evenly spaced from left to right.

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか?

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

危険情報を把握、予見できた。集中力、注意力があった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

- ・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。 いいえ
 - ・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。 いいえ
 - ・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。 いいえ

b 注意力が欠如していた

- ・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。
 - ・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。
 - ・体調不良や疲れにより注意力を欠いた

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躊躇したり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかつた（適切な指示を与えられなかつた）。

・活動指示が得られなかつた。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があつた。

いいえ
